

低温・日照不足対策をしましょう

令和元（2019）年7月11日

那須農業振興事務所

- ・ 出穂期は平年並の見込みです。
- ・ 深水管理など、低温と日照不足の対策をお願いします。
- ・ 現在までの生育量は平年並のため、穂肥を行う場合は、出穂 15 日前を基本に施用してください。

7月5日に行った生育調査では、那須地域における水稻の生育は、おおよそ平年並でした。

【那須管内】

施肥方法	地域	草丈 cm		茎数 本/m ²		葉齢		葉色		葉色×茎数	
		本年	平年比 (平年100)	本年	平年比 (平年100)	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比 (平年100)
分施 (元肥+追肥)	那須町	59.7	102	545	98	10.7	+0.3	4.5	+0.3	2,453	106
	大田原市	65.9	104	462	87	11.7	+0.8	3.6	±0	1,663	86
全量元肥	那須塩原市	66.8	100	503	101	11.5	+0.3	3.9	+0.2	1,962	108

県北部の生育診断指標 栽植密度:20株/m²

時期	葉色	茎数(本/m ²)	葉色×茎数
出穂15日前	3.6~4.0	400~430	1,450~1,700

調査結果及び生育中の気温から推測した出穂期は以下のとおりです。

【大田原市5/4移植の場合、7/31~8/6頃出穂。平年は8/6】。

【参考：県平均（上記の3ほ場含む）】

施肥方法	地域	草丈 cm		茎数 本/m ²		葉齢		葉色		葉色×茎数	
		本年	平年比 (平年100)	本年	平年比 (平年100)	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比 (平年100)
分施	県内7ほ場平均	65.9	100	509	96	11.3	+0.1	3.7	-0.1	1,894	93
全量元肥	県内4ほ場平均	68.4	97	549	115	11.3	-0.1	4.1	0.0	2,019	104

◎ 低温・日照不足対策

7月8日宇都宮地方气象台から「日照不足と低温に関する栃木県気象情報」が発表されました。引き続き、低温と日照不足が予想されます。対策の徹底をお願いします。

① 減数分裂期前後（出穂前 15~5日）は低温に最も弱い時期です。

低温時は、深水管理により不稔を防止してください。

前歴深水かんがい期	出穂前25~15日	水深約10cm
危険期深水かんがい期	出穂前15~5日	水深約20cm

② 20度前後の気温と日照不足により、いもち病が発生しやすい条件になっています。

地区	感染好適条件の出現日
大田原	6/28、6/29
黒磯	6/28～30、7/2

※いもち病発生時期予測システムによる判定

感染好適条件が出現した日から7～10日後に発病する可能性がありますので、ほ場をよく観察し、いもち病の発生状況に応じて、適期に防除を行ってください。

(参考：気象庁HPから一部を抜粋)

日照不足と低温に関する栃木県気象情報 第1号

令和元年7月8日15時35分 宇都宮地方気象台発表

(見出し)

栃木県では、6月28日頃から、日照時間が少ない状態が続いています。この状態は、今後2週間程度は続く見込みです。また、今後2週間程度は平年に比べ気温の低い状態が続く見込みです。農作物の管理等に十分注意してください。

(本文)

栃木県では6月28日頃から、前線や湿った空気の影響を受けやすく、日照時間は平年の20%を下回っている所が多くなっています。

この状態は、今後2週間程度は続く見込みです。

また、オホーツク海高気圧からの冷たく湿った空気の影響を受けやすく、今後2週間程度は気温の低い状態が続き、かなり低くなる所がある見込みです。

農作物の管理等に十分注意してください。

日照時間(6月28日から7月7日まで)(速報値)

(気象官署及び特別地域気象観測所)

	日照時間(h)	平年比(%)
宇都宮	3.3	11
日光	2.3	8

日照時間(6月28日から7月7日まで)(速報値)

(アメダス)

	日照時間(h)	平年比(%)
那須高原	3.7	13
五十里	9.2	26
黒磯	3.5	11
土呂部	5.7	19
大田原	4.9	14